



NPO PTPL “ともいき” 便り No.11

■ 白露（はくろ）号（2012年9月7日発行）

やっと、吹く風に涼しさを感じられるようになりました。散歩の途中、役目を終えたセミがコンクリートの道の上に足を縮めて落ちていました。せめて土の上にと、近くの木の根元に移してあげました。今はセミと交代して秋の虫が美しい声で鳴きはじめています。江戸時代には秋の虫の声を楽しむ「虫聞きの会」が開かれていたそうです。「江戸名所図会」（5巻。道灌山聴虫。長谷川雪旦）の中に虫聞きの図があります。ムシロを敷いてお酒を飲んでいる人、虫かごをもった子どもを連れた女の人の姿が描かれています。平成の時代、虫の声に耳をかたむけて、お酒を飲むのもよし。本を読むのもいいですね。

そういえば、先日半蔵門線の表参道のホームにバッタがいました。ポールの下にちんまりと。誰かについてきちゃったのかな。バッタの行く末に不安を感じ、つかまえてハンカチに包み、私の目的地の永田町で下車。地上に上がり、草むらに放してあげました。今ごろどうしているのやら。

さて節気は白露に入りました。（9月21日まで）9月9日は重陽の節句。菊の節句ともいわれています。昔中国では、この日に香りの強い山椒を身につけて高所に登り、菊酒を飲み食事をするとう長寿になると信じられていました。この習わしが日本にも伝わり、平安貴族たちは頭に山椒をさして邪気をさけたり、菊酒を飲んだりしたそうです。すてきだなと思うのは、「菊綿」。綿を菊花にかぶせてその露でぬれた綿で肌をなでて長寿を願う風習。菊の香りが綿にしみてほんとに長生きしそう。菊の花を木綿袋にいれてお風呂に浮かべて「菊湯」も気持ちよさそうです。

ところが残念なことに、「重陽の節句」は次第に人々の生活の中から消えていってしまいました。なぜなら、明治の改暦の時、旧暦の9月9日という日付だけを今のカレンダー（新暦）に落としてしまったために季節がずれてしまったからです。ちなみに今年の旧暦9月9日は、新暦の10月23日。本来ならば重陽の節句は、菊が旬を迎える10

月 23 日の季節感の中で祝われる行事なのです。ただ、長崎に「長崎くんち」という諏訪大社の大祭があります。重陽の節句の 9 月 9 日の「くにち」が「くんち」となったという説があります。収穫の祝いと感謝の祭りです。影が薄くなる重陽の節句ですが、ちがう形でしっかりと日本人の心に根をおろしているようです。

秋の始まり。虫の声や秋祭り。新米。実り。いわし雲。月や星も美しく見える季節です。ツバメたちは南に帰る仕度が出来たでしょうか。白露は「大気が冷えて朝、草花に白露が宿るころ」です。暑くほてった心と身体を、ゆっくり、ゆっくり、クールダウンしていきたいです。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ 事務局だより

◎ 2013 年度版「ともいき暦」制作中！

本年 8 月より、2013 年度版「ともいき暦」を制作中です。

より、多くの方々に「ともいき暦」に親しんでいただきたく、見せ方にも工夫を凝らし、より多くの情報を、と営利努めています。

どうぞ、ご期待下さい。

◎ お知らせ

8 月末より、「タピラス」のサイトのドメイン移管作業に問題が発生し、現在、「タピラス」のサイトをご覧頂くことができません。

いま復旧作業を行っていますが、しばらくのあいだお待ちください。

なお、この“ともいき便り”が、お手元に届く頃、入れ違いで復旧している場合は、ご了承ください。

◎ “ともいき便り”のご感想、ご意見をお寄せください。

いくつか、事務局に “ともいき便り” に関するご意見、ご感想が届いています。またの機会に改めて、ご紹介させていただきます。

つきましては、ぜひとも、“ともいき便り”のご感想、ご意見をお待ちしております。

◎ “ともいき” 便りは、基本的に郵送しておりますが、お知り合いの方にメールなどで配信ご希望の方は、事務局までお知らせください。テキストデータでお送りします。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp